

広島大学法科大学院

小論文試験

2025年8月23日(土)

10:00～11:30

注意事項

- 1 ページ数は、表紙を除いて、6ページです。
- 2 解答用紙は4枚、下書用紙は3枚です。問いごとに解答用紙があります。解答用紙の記載を確認し、所定の解答用紙を使用してください。
- 3 解答は所定の解答用紙に横書きで書いてください。罫線外、マス枠外及び裏面を使用してはいけません。なお、使用する筆記用具の指定はありません。
- 4 解答用紙の所定の箇所には、受験番号のみを記入してください。氏名を書いてはいけません。
- 5 配布した解答用紙は持ち出してはいけません。
- 6 試験時間の途中で退室することはできません。
- 7 試験終了後、問題冊子及び下書用紙は持ち帰ってください。

【問題】

以下の文章は、国家の権威と個人の選択及び行動について述べたある著書からの抜粋である。この文章を読んで、次の問いに答えなさい。なお、出題に際して、一部省略・変更した箇所がある。

第1問（60点）

本文の内容を600字以上800字以内で説明しなさい（句読点も1字と数えるものとする）。

第2問（40点）

価値の「比較不能性」（本文中の5頁下線部）が現れる具体例を1つ挙げて、それが具体例になる理由を説明しなさい。なお、具体例は本文で挙げられているものとは異なるものを挙げなさい。

第3問（50点）

著書では、引用されている文章に続けて、宗教についての筆者の考えが述べられている。本文の内容を踏まえると、宗教についての筆者の考えはどのような内容になると推測できるのかを論じなさい。論じる際には、①国家を権威として取り扱う理由、②人の行動や選択について各自が判断するのが原則であると考えられる理由の2つを踏まえなさい。